

国際認証NadcapやISO22301 を取得し、顧客から高い信頼を受けている

1939年創業者が横浜市に菅沢製機所を創設し、1971年山形誘致企業として工場を新設し、1981年に同社を設立。海外建機メーカー、航空機産業メーカーと取引実施。国際認証Nadcap（非破壊検査）やISO22301（事業継続マネジメントシステム）を取得するとともに、航空機向け材料を海外から直接取引してコスト競争力を高め、国内外の航空機メーカーから信頼を固めている。最新鋭の製造・検査装置を導入し、生産効率等も向上させ、航空機関連の売上を着実に伸ばしている。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 山形県寒河江市中央工業団地160-2 | ● 設立 | 1981年 |
| ● 電話/FAX | 0237-84-5641 / 0237-84-5639 | ● 資本金 | 1,000万円 |
| ● URL | http://www.sugasawa.com/jp_top | ● 従業員数 | 75人 |
| ● 代表者 | 代表取締役 長谷川 俊雄 | | |



需要獲得

海外航空機メーカーが求める要求を迅速に対応

従来から油圧機器やディーゼルエンジン部品で海外メーカーと取引があり、機械加工企業としては日本初の「保障納入認知工場」を授与されている。それに加えて、海外航空機油圧メーカーが求める国際規格認証にも積極的に取り組み取得するとともに、国際的なコスト競争力確保のため、通常商社を通じて材料・部品の調達を行うところ、海外事務所を設立し直接調達を実施している。また、各工程を管理する窓口企業の役割を担い、一貫生産受注体制を確立している。



Nadcap

日本及び地域のハブ機関としての役割

国内外航空機メーカーが求める一貫生産受注体制対応のため、地域のモノづくり企業を中心に表面処理企業、熱処理企業、機械加工企業と協力関係を有しハブ企業としての役割を果たしている。

また、山形県航空機産業地域戦略研究会会員でもあり、自ら航空機関連コンサルを招へいた勉強会を開き、航空機産業参画推進を図るなど、地域企業との連携強化にも積極的に努めている。



専用加工設備

付加価値向上につながる人材育成と事業マネジメントシステム

積極的な人材育成や国際認証取得体制により従業員の半数に及ぶ資格保有者が在籍し、高い製造能力と設備稼働率等を有する。事業マネジメントシステムISO22301（BCMS）を取得し、自然災害等のトラブルによる工場生産停止から復旧まで、原材料調達や特殊工程サプライチェーンも含めて2週間以内で行えるシステムを構築している。また、治具や製造装置を自社で開発する他、各製品に適した切削ドリルの開発や装置及びドリルなどの工具のメンテナンスも自社で実施できる体制を確立している。



ISO22301

ものづくり